

## 1. 団体区分別ラスパイルス指数

(ポイント)

平成26年4月1日現在のラスパイルス指数は、団体区分別でみると全国市平均が98.6(前年比8.0ポイント減、平成25年の参考値との比較では0.1ポイント増)、全国町村平均が95.6(前年比7.6ポイント減、平成25年の参考値との比較では0.2ポイント増)となっている。

県内については県内市平均が99.9(前年比7.9ポイント減、平成25年の参考値との比較では0.3ポイント増)、県内町平均が96.8(前年比8.0ポイント減、平成25年の参考値との比較では0.1ポイント減)となっている。

平成25年の参考値は、平成24年と平成25年の2年間の国家公務員の時限的な給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の平成25年の値

第1表 県内市町の団体区分別ラスパイルス指数(一般行政職)

区分	平成25年		平成26年	増減	
		参考値			参考値との比較
県内市平均	107.8	99.6	99.9	7.9	0.3
県内町平均	104.8	96.9	96.8	8.0	0.1
県内市町平均	107.3	99.1	99.4	7.9	0.3
全国市平均	106.6	98.5	98.6	8.0	0.1
全国町村平均	103.2	95.4	95.6	7.6	0.2
全地方公共 団体平均	106.9	98.8	98.9	8.0	0.1
(参考) 三重県	109.1	100.9	101.8	7.3	0.9

(注)ラスパイルス指数は、地方公共団体の一般行政職の給料額と国の行政職俸給表(一)の適用職員の俸給額を、学歴別、経験年数別にラスパイルス方式により対比させて比較し算出したもので、国を100としたものです。

なお、ラスパイルス指数は、給与を比較する手法の一つであり、各団体の職員構成(経験年数階層)の変動、初任給基準の改定等のさまざまな要因によって変動することが考えられます。(例えば、経験年数階層区分が10年以上では、5年きざみになっているため、小規模な町村において経験年数階層内の職員の分布が変わった場合には、ラスパイルス指数は変動します。)